

AWAJI にんにんキャンプ ～親子で忍者修行にちゃれんじ!～

- 趣旨：幼児期に必要とされる多様な動きの獲得や体力・運動能力の基礎を培うことを目的に、親子で楽しみながら体を動かして遊ぶことをテーマにしたプログラムを実施する。
- 日時：平成29年9月30日（土）13:00～10月1日（日）12:00
- 場所：国立淡路青少年交流の家
- 対象：子どもとその保護者 15組、50名程度
- 参加者：14家族45名（保護者21名、子ども24名）
- 講師：天理大学体育学部 講師 蓬田 高正 氏



7 プログラムの内容

9月30日（土）13：45 親子de遊ぼう！

開講式で事業内容の説明やスタッフの紹介などを終えた後、からだ・こころほぐしの手遊びや体操を行った。親子で手を繋ぎながら行う運動など、身体を使ったコミュニケーションを図った。少しずつ複雑になっていく遊びに参加者はのめり込んでいた。親子遊びを通して、身体だけではなく、心もほぐれていく参加者の様子がうかがえた。



9月30日（土）14：00 親子で忍者修行にチャレンジしよう！

7つブースを設け、ひとつの遊びを体験するごとにスタンプをもらえるようにした。子どもたちはスタンプを集めることに夢中になっていた。スタンプを集め終えた子どもは好きな遊びを何度も繰り返していた。スラックライン、キンボール、吹き矢などの普段は体験することができない遊びに子どもたちだけでなく保護者らも目を輝かせていた。



9月30日（土）19：30 親子別プログラム ～子ども対象プログラム～

保護者と子どもに分かれて活動を行った。子ども対象のプログラムでは、ボランティアと一緒に様々な遊具で遊んだ。子ども同士で協力してカプラで創作したり、年上の子どもが年下の子どもに遊び方を教えたりと、遊びの中で自然と社会性が育まれていた。



9月30日(土) 19:30 親子別プログラム ～保護者対象プログラム～

保護者対象のプログラムでは、4人程度ずつに分かれてワークショップを行った。「子どもたちの体力で気になっていることは？」という議題で話し合い、悩みを共有した。その後、悩みを解決するためにはどうすればよいのかについて意見を出し合った。講師の蓬田氏による講義を挟みながら進行したが、保護者らは子どもたちのことを思い浮かべながら熱心に聞いていた。



10月1日(日) 9:30 親子で忍者修行遊びを考えよう!

保護者と子どもに分かれて遊び創りを行った。保護者は3つのグループに分かれて、それぞれ遊びを考えた。どのようにすれば子どもたちが楽しめるのかを真剣に話し合っていた。一方、子どもたちは自由に遊びを創った。迷路創りなどで協力している姿がみられた。最後に保護者が創った遊びを子どもたちに体験してもらった。どれも好評で、保護者も子どもたちも笑顔で楽しんでいた。



8 参加者の声

- 夜の話で、まわりの親子さんも同じような悩みがあり、共感できた。
- 2日目の自分達で考えて活動するのが楽しかった。
- キンボールや吹き矢など、普段体験できないことができて楽しかった。
- 子供の楽しそうな姿をみられてとてもよかった。



9 所感

「遊びとしての運動」といった明確なコンセプトが打ち出せたため、講師との打ち合わせおよび準備作業がスムーズにいった。また、多くのボランティアに参画いただいたことで、親から離れて子ども同士で遊びながら社会性を学ぶ機会を設けることができた。親同士が交流する時間では、互いに悩みを共有することで、子育てに対して精神的な余裕が生まれたとの意見が寄せられるなど、家族間のコミュニティを形成することの大切さを確認した。

